

富山県地域産業成長プラン(案)

資料3

富山の強み×世界の潮流＝経済安全保障とウェルビーイングの実現

▼5つの重点分野(具体的な成長分野)

【地域産業クラスター計画】

①マテリアル

アルミやプラスチック等のサーキュラーエコノミーの推進

・富山大学
先進アルミニウム
国際研究センター

③半導体

半導体関連企業の大型投資

②バイオ・医薬品

国内最大級のバイオ医薬品
CDMO工場の開設

③データセンター

AI時代を支える基盤づくり

【地場産業成長プラン】

④コメ・コメ加工品

コメ及びコメ加工品(パックご飯、米菓、冷凍寿司等)の輸出拡大

⑤ウェルネス・観光

健康食、伝統工芸等

クラスターの産業分野(ハード面)をさらに広げ、人々の生活や豊かさ(ソフト面)へつなげる

→癒しの聖地・ウェルビーイング先進地域の具体化

▼なぜ選定したのか？

県の最上位計画との「整合性」

- ・富山県総合計画
- ・富山県ものづくり産業未来戦略
- ・富山県地域未来投資促進計画

富山県が培ってきた「圧倒的強み」

- ・日本海側屈指の工業集積
- ・全国トップクラスを誇る「富山のくすり」
- ・恵まれた水資源、優れた物流網

世界的潮流と「経済安全保障・将来性」

マテリアル

国内外のサーキュラーエコノミー移行の動き+中東情勢の緊迫化による調達リスクの高まり

医薬品

国内生産やサプライチェーンの強化

半導体・データセンター

AI時代に対応できる国際競争力の強化

富山県 ①サーキュラーエコノミー分野における地域産業クラスター計画の概要（案）

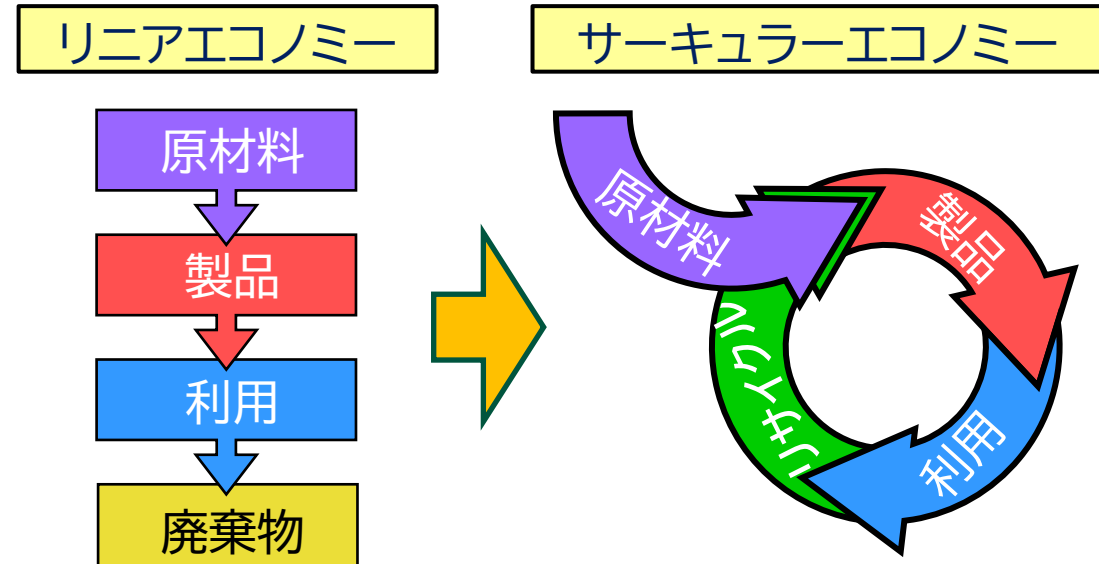
1. 産業領域

金属製品製造業、非鉄金属製造業、はん用機械器具製造業
プラスチック製品製造業、廃棄物処理業 など

＜特定理由＞ 本県は、アルミをはじめとした金属製品やプラスチック製品の製造や高度なリサイクル技術を有する企業が多く立地しており、サーキュラーエコノミー(CE)の推進により、地域社会の持続的な発展が見込まれる

2. 対象エリア

高岡市、射水市、富山市等



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・資源調達リスクや環境制約など、本県産業を取り巻く環境は大きく変化。
- ・本県は、アルミやプラスチックなどにおいて、資源循環型産業への転換に適した基盤を十分に備えている。

（2）目指すべき目標(R12)

- ・県内製造業の付加価値額
1兆4,182億円→1兆8,400億円
- ・アルミ産業でのCEに関するプロジェクト件数
5件 → 10件
- ・廃プラスチック類の最終処分量
29.4% → 29%以下

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- ・新産業の創出による国内外での産業競争力の強化
- ・基幹産業である製造業における、労働生産性の向上
- ・成長性の高い企業をはじめとした産業集積の推進

（2）取り組みの具体像

- ・全国に先駆けた先行事例の創出
(成長機会の獲得)
- ・CE移行への環境整備
(制度設計・基盤整備)
- ・動静脈連携の推進
(技術開発・ビジネス創出)

5. 政策手段

（1）取り組みに向けた課題

- ・再生素材利用を促進する制度整備
(規制・標準化等)
- ・地元製造業とのマッチング基盤
(需給調整、再生材活用支援)

（2）講じるべき政策パッケージ

- ・製造業(動脈)と回収・リサイクル業(静脈)のマッチング
- ・アルミやプラスチックなどにおいて、CEの実現に向けた研究開発の支援
- ・廃プラスチック類の排出事業者とリサイクラー、製造業者とのマッチング
- ・クリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進

富山県 ②バイオ・医薬品分野における地域産業クラスター計画の概要（案）

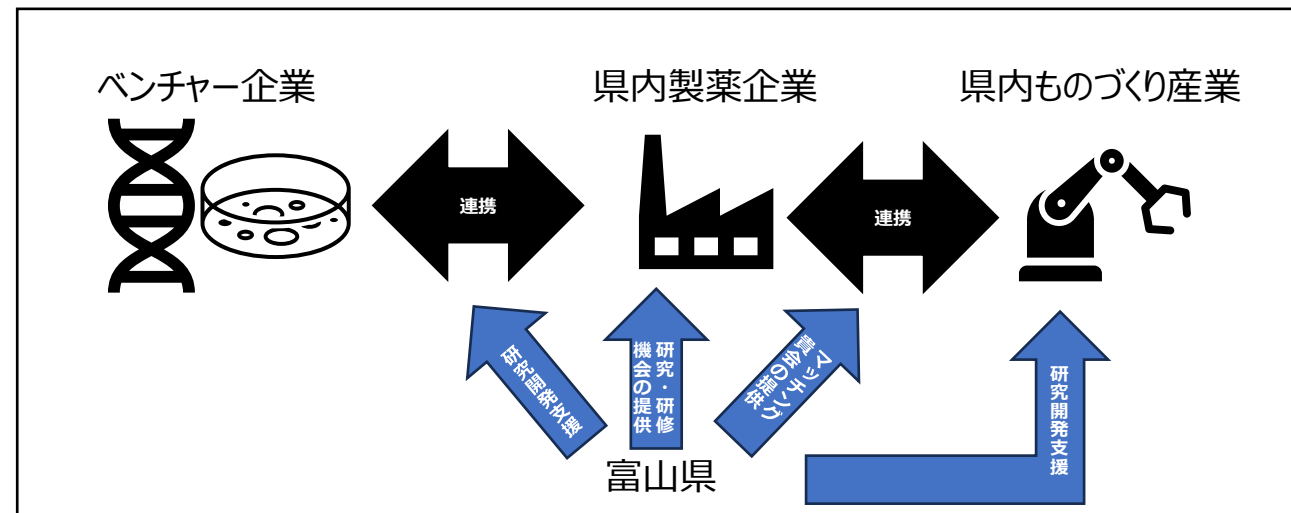
1. 産業領域

医薬品産業、医薬品の製造に用いる部素材等の
ものづくり産業

〈特定理由〉 医薬品産業とものづくり産業の産業集積と
技術力を活かし、相互連携等により、新しい付加価値創造
と地域経済の活性化が見込まれる。

2. 対象エリア

県内全域



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- 毎年の薬価改定により、既存医薬品を主力とする医薬品産業では収益環境が厳しさを増しており、事業構造の転換が必須
- バイオ医薬品等の高付加価値医薬品の製造には高度な技術力に加え、部素材・消耗品等の供給が不可欠であり、国内サプライチェーン強化が課題

（2）目指すべき目標（R5→R10）

- 従業員 1 人あたりの付加価値額
医薬品製造業
1,683万円→1,858万円
ものづくり産業を含む製造業
1,158万円→1,304万円

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- 県内の医薬品産業の持つ技術力を核に、創薬シーズと製造部素材・消耗品を結びつけた医薬品製造エコシステムを形成し、地域経済の活性化を図る

（2）取組みの具体像

- 創薬シーズを有するベンチャー等との連携により、革新的医薬品の開発機会を創出するとともに、医薬品製造の中核となる人材の育成を推進
- 県内ものづくり企業の技術を活かし、高付加価値な医薬品の製造に不可欠な部素材や消耗品等の製造基盤を強化

5. 政策手段

（1）取組みに向けた課題

- 創薬シーズを持つベンチャー企業と高い製剤開発力を持つ県内製薬企業との連携
- 専門人材の育成
- ものづくり企業の医薬品分野への参入

（2）講じるべき政策パッケージ

- 県内製薬企業がベンチャー企業と連携して実施する、革新的・新規性の高い医薬品研究開発を支援
- バイオ医薬品等に関する研究・研修を実施
- ものづくり産業に対する、県内製薬企業とのマッチングや研究開発を支援

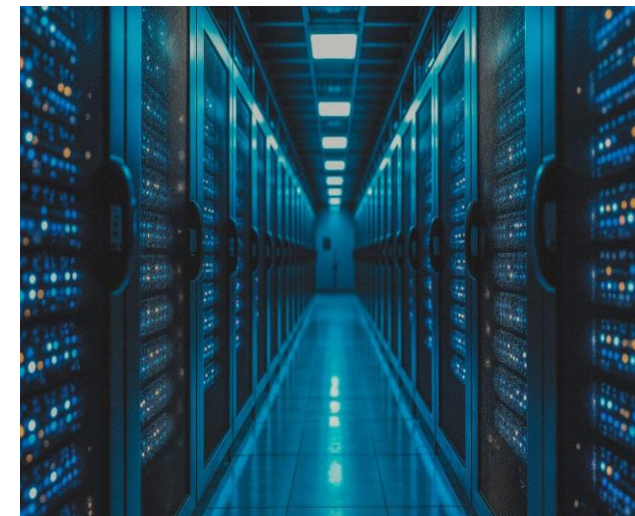
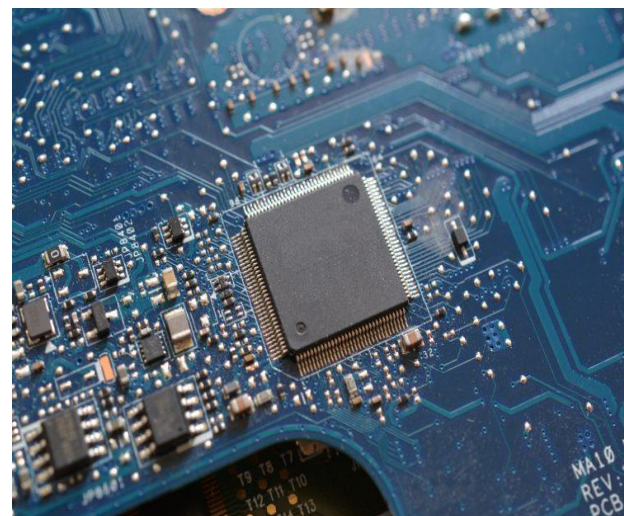
富山県 ③半導体・データセンター分野における地域産業クラスター計画の概要（案）

1. 産業領域

電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信業
〈特定理由〉本県では、優れた産業基盤を活かし、半導体関連産業の誘致等を推進しており、大型投資も進んでいる。世界的な半導体市場の拡大を追い風に、半導体関連産業のさらなる発展を目指す。

2. 対象エリア

魚津市、高岡市、砺波市等（半導体）
南砺市（データセンター）



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・優れた立地環境を背景に、県内に産業集積
- ・県内半導体関連企業の大型投資
- ・データセンター国内分散立地の必要性の高まり

（2）目指すべき目標（R6→R12）

- ・製造業付加価値額
1兆8,400億円
- ・企業立地件数
68件以上/年

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- ①半導体関連産業の誘致
- ②データセンターの誘致
 - ・支援体制の構築
 - ・助成制度活用
 - ・立地環境PR
- ③製品・技術開発に対する支援

（2）目指すべき姿

- ・半導体分野における国内サプライチェーンの供給シェア獲得
- ・データセンターにおける情報処理中核拠点の形成

5. 政策手段

（1）取組に向けた課題

- ・専門人材の確保
- ・電力、工業用水等インフラの安定供給
- ・造成地の計画的な確保

（2）講じるべき政策パッケージ

- ・「富山県半導体産業推進チーム」による支援体制の構築
- ・「富山県人材確保・育成パッケージ」による総合的な支援
- ・電力事業者が行う送電、変電設備の整備での連携
- ・工業用水の機能維持等による安定供給に向けた連携
- ・通信インフラ、土地利用関係者との連携

富山県 ④コメ・コメ加工品分野における地場産業成長プランの概要（案）

1. 支援する分野

コメ及びコメ加工品(パックご飯、米菓、冷凍寿司等)の輸出拡大

<特定理由> 本県には、コメの輸出フラッグシップ産地に加え、県産米を活用した米菓やレトルト米飯等のコメ加工メーカーも立地しており、関連産業の連携により、更なるコメ輸出拡大が見込まれる。

2. 支援する地域及び核となる事業者

輸出用米生産者(団体)、米菓・パックご飯・日本酒・寿司メーカー、輸出商社、物流事業者等



3. 目指す姿（目標）

(1) 現状の整理

- ・コメの輸出は、商社中心に行われ、横ばい傾向(3億円)
- ・コメ加工品の輸出は、原料確保等の課題はあるが、拡大傾向(1億円)
- ・日本酒の輸出は、需要が回復し、拡大傾向(7億円) ※()内はR6年度実績

(2) 目指すべき目標 (R3→R8)

・コメ及びコメ加工品の輸出額

- コメ 7億円
- コメ加工品 3億円
- 日本酒 65億円

※次期目標はR8中に県輸出計画で決定

4. 勝ち筋

(1) 基本戦略

- ・生産者と加工メーカーの連携を強化し、県産米の高付加価値化と輸出拡大による地域経済の拡大を図る。

(2) 取組みの具体像

- ・温暖化でも高品質なコメ品種(富富富など)の生産拡大
- ・原料米の安定供給
- ・重要市場の販路開拓
- ・富山の認知度・イメージアップ
- ・県内港湾の活用など物流の効率化

5. 政策手段

(1) 取組に向けた課題

- ・他国産米との差別化
- ・加工食品への原料米の安定供給
- ・インバウンド消費を輸出につなげる

(2) 講じるべき政策パッケージ

- ・コスト低減、収量増への技術支援
- ・原料米の価格と供給量の安定化
- ・海外市場でのプロモーション
…レップ活用、寿司と一体となったP R等
- ・インバウンド向け販売力強化
…消費行動に基づく越境ECへの展開等
- ・物流の効率化
…伏木富山港の活用等混載輸出の検討

富山県 ⑤ウェルネス・観光分野における地場産業成長プランの概要（案）【ウェルネス】

1. 支援する分野

ものづくり、伝統工芸、医薬、農林水産、観光などを「ウェルネス」の視点から支援する。

2. 支援する地域及び核となる事業者

分野	核となる事業者・資源
ものづくり・伝統工芸	県内ものづくり企業（ウェルネス関連用品）、伝統工芸品
医薬・美容	医薬品・健康食品製造販売事業者、美容・アロマ関係事業者
農林水産・食	県産木材・農水産物加工・販売事業者、飲食料品製造販売事業者
温浴・観光	サウナ・温浴施設、観光事業者



3. 目指す姿（目標）

富山発ウェルネス・ライフスタイルの確立と、県民のウェルビーイング向上

(1) 「心身を整え、豊かに暮らす」という新たなライフスタイルを富山から発信し、高付加価値な産業群（ウェルネス産業）を育成する。

(2) 本県の強みである「医薬」を起点として、日々の生活の中で心身を整える「未病・予防・ウェルネス」へと領域を広げ、県民の暮らしそのものをより健やかで豊かなものにする（ウェルビーイング先進地域）を目指す。

4. 勝ち筋

多層的な地域資源の「統合価値」の創出

(1) 圧倒的な比較優位の統合的活用

- 水・自然：立山連峰の雪解け水、森林、豊かな自然環境による「癒やし」
- 技・ものづくり：伝統工芸の技、素材加工技術や優れたデザインによる「五感を刺激する空間・道具」
- 知・医薬：300年以上の歴史を持つ医薬の知見による「健康維持・増進」

(2) キラーコンテンツの多角化

- 「富山でしか体験できない高水準のウェルネス体験（サウナ、食、森林、伝統文化・工芸）」を起点に、国内外の高感度層を惹きつけるとともに、県民の生活実感の向上を図る。

(3) 市場の成長性への全方位アプローチ

- 世界のウェルネス市場（約900～1000兆円規模）は拡大を続けており、モノの所有から「質の高い体験・日常」への消費シフトを捉える。

5. 政策手段

(1) 人材育成

- 富山のウェルネス産業を担う人材の誘致・育成
- 伝統工芸における高度な技法の継承支援

(2) 商品開発支援

- 異業種連携の推進
- 産業支援機関等による技術・デザイン面の向上やブランド力向上に向けた支援

(3) 販路開拓、情報発信

- 国内外のバイヤーとのネットワーク構築
- 県産ウェルネス関連商品・製品の県内施設での利用・販売促進
- ホームページ、SNS、既存メディアなど多様な媒体を通じた魅力発信、誘客促進

富山県 ⑤ウェルネス・観光分野における地場産業成長プランの概要（案）【観光】

1. 支援する分野

観光産業

→商工業、農林水産業等幅広い分野の地域経済へ波及効果をもたらす総合的な産業

2. 支援する地域及び核となる事業者

富山県内観光関連事業者



3. 目指す姿（目標）

富山にしかない「特別感」のある観光地や、暮らし自体が持つ魅力が活かされ、**人と経済が潤う観光地域づくり**が進んでいる。

○観光消費額 2,250億円（R11）

○延べ宿泊者数 4,030千人（R11）

4. 勝ち筋

裾野の広い波及効果を生み出す観光産業の稼ぐ力を磨く

→滞在時間の増大・観光消費の拡大

- ①持続可能な観光地域づくり
- ②インバウンドや高付加価値旅行者の誘客推進
- ③三大都市圏を中心とした国内誘客推進
- ④広域観光の推進
- ⑤富山らしい魅力創出

5. 政策手段

- ①持続観光な観光地域づくり
 - ・観光人材育成と地域における活躍促進
 - ・県DMO（観光地域づくり法人）の組織機能充実
 - ・インバウンドを含む旅行者に満足いただける受入環境整備
- ②インバウンドや高付加価値旅行者の誘客推進
 - ・欧米豪など新規市場開拓、東アジア・東南アジアからのリピーター客の取込み
 - ・高付加価値旅行者向け宿泊施設の誘致・支援
- ③三大都市圏を中心とした国内誘客の推進
 - ・Webマーケティングに基づく戦略的な情報発信
 - ・首都圏・関西圏の情報発信拠点を活用した魅力発信
 - ・映画等の誘致
- ④広域観光の推進
 - ・北陸三県、交通・旅行事業者と連携した広域周遊促進
 - ・新幹線駅と県内観光地を結ぶ観光路線バスの運行支援
- ⑤富山らしい魅力創出
 - ・黒部宇奈月キャノートの魅力発信、旅行商品磨き上げ
 - ・立山黒部、五箇山、富山湾など富山ならではの特別感のある魅力の発信
 - ・ものづくりや伝統工芸産業を活かした産業観光推進
 - ・コンベンション誘致